仕　様　書

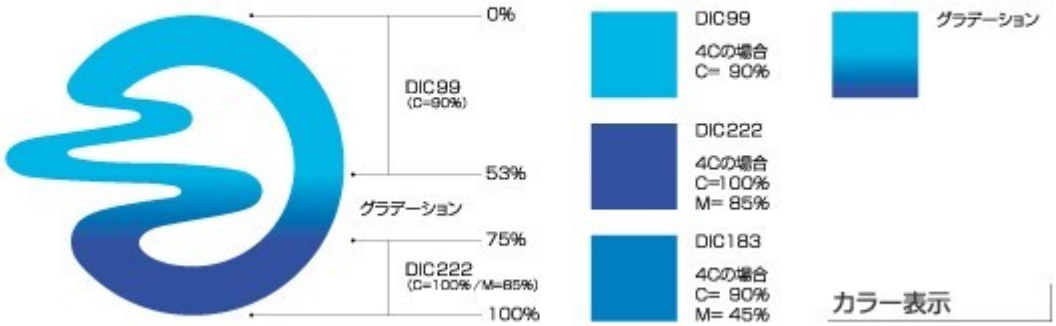
項　目	内　　容
1　品名	令和６年度版　福岡市水道事業統計年報
2　規格等 (1)規格 (2)頁数 (3)紙質・色 (4)原稿	 A4 型 見返し　　2 頁 目次　　4 頁 本文　　108 頁 紙質　　間伐材配合率 10%、古紙配合率 90%のもの 表紙　　コットン紙厚・白茶色 見返し　57.5kg 折り込み頁, 目次，本文　　再生紙　44.5kg ただし、上記の基準を満たす製品を納入することが困難な場合には、 担当者の了解を得た場合に限り、代替品の納入を認める。 本文等（データ有り・Excel，Word） 図表２点 施設概要図（jpg，カラー写真有り） 節水シンボルマーク（別紙仕様をデータ渡し） グラフ 12 点（ Excel データ有り） ※データはパスワード設定のうえメールにて送付。 ※データのレイアウト作業の必要有り。
3　数量	冊子：160 冊
4　内容	昨年度統計年報を参照
5　納入場所	水道局総務部営業企画課
6　製作スケジュール 及び納入期限	■製作スケジュール（仮）…別紙参照 ■納入期限　令和 7 年 9 月 17 日（水）
7　その他	①要校正（2 回以上），担当者と協議のこと ②印刷データは，PDF 形式で CD-R に保存し，納品の際に営業企画課に引き渡すこと(※ホームページ掲載の際，ファイルサイズに制限があるため，データは 2 メガ以内としてください。収まらない場合は，項目別にファイルを分割してください。) ③規格等の詳細については，昨年度統計年報を参照のこと ④別添「グリーン購入の調達者の手引き（環境省資料。以下、「国の手引き」という。)」の「特定調達品目及び判断の基準」を満たすこと。(「国の手引きの「印刷の判断の基準の概要と発注時の確認事項」をすべて満たすこと。）※加えて、「資材確認表」及び「印刷工程チェックリスト」を提出すること。

令和６年度版

福岡市水道事業統計年報

（令和６．４．１ ～ 令和７．３．３１）

福岡市水道局


0%
DIC99
(C=90%)
53%
グラデーション
75%
DIC222
(C=100%/M=85%)
100%
DIC99
4Cの場合
C= 90%
DIC222
4Cの場合
C=100%
M= 85%
DIC183
4Cの場合
C= 90%
M= 45%
グラデーション
カラー表示

■令和６年度版　統計年報　作成スケジュール（仮）
※校正の量によって，スケジュールは前後することがあります。

7月																															8月																													
7月4日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
入稿														初校出													初校戻														再校出														再校戻									三校出						

9月																						
9月1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
		三校戻・校了														納入期限						

詳細情報

印刷の判断の基準の概要と発注時の確認事項

印刷物の印刷を発注する際は、①用紙、②インキ類、③印刷工程における環境配慮、④印刷物への表示についてグリーン購入法の基準を満たしているかを、資材確認票及び印刷工程チェックリストにより事前に確認する必要があります。資材確認票は、印刷物の納品時に提出されるよう、納入業者に依頼しましょう。資材確認票の内容は印刷業者が記入し、納入業者を通じ調達者に提出される流れとなります。

印刷の判断の基準の概要

項　目	判断の基準	基準の詳細・解説
用紙	総合評価値 80 以上かつリサイクル適性 A ランク※1	冊子の表紙は、総合評価値によらず合法性の確認されたもの
インキ類	・植物由来の油を含有したインキ ・リサイクル適性 A ランクのインキ ・化学安全性が確認されたインキ	・オフセット印刷：NL 規制適合かつインキグリーンマーク「★」基準適合インキ、リサイクル適性 A ランク ・デジタル印刷：化学安全性が確認されているもの
オフセット及びデジタル印刷工程における環境配慮	デジタル化（DTP 化）又は銀の回収のいずれか	・製版工程の DTP 化率 50%以上 ・製版フィルムを使用する場合、廃液及び銀の回収を実施
	印刷板（アルミ）のリサイクル	刷版工程：リユース又はリサイクル
	VOC 発生抑制	印刷工程： ・水なし印刷の導入 ・湿し水循環システムの導入 ・VOC 対策型湿し水の導入 ・自動布洗浄導入、循環システムの導入（自動液洗浄の場合） ・VOC 対策型洗浄材の導入 ・容器等の密閉、VOC 処理装置の設置 表面加工：アルコール類を濃度 30%未満で使用
	製紙原料（等）へのリサイクル※2	・印刷工程（オフセット・デジタル）：80%以上 ・表面加工：80%以上 ・製本加工：70%以上
	省エネ活動の実施	印刷機の省電力機能の活用、未使用時の電源オフなど（デジタル印刷に適用）
	騒音・振動抑制	製本工程：窓、ドアの開放禁止
印刷物への表示	リサイクル適性・マークの表示（印刷物の背、表紙、裏表紙のいずれかに表示：次頁参照）	B、C、D ランクの材料を使用する場合は使用部位、廃棄又はリサイクル方法を記載

※1　その他のランクの用紙を使用する場合は、上記「印刷物への表示」を参考に使用部位、廃棄又はリサイクル方法を記載。
※2　デジタル印刷工程及び表面加工工程では、製紙原料へのリサイクル以外（RPF への加工やエネルギー回収等）のリサイクルを含む。

～印刷物製作発注の際は～

■資材確認票の提出を依頼（表2）

→①用紙、②インキ類等の仕様について、資材確認票により事前に確認し、印刷物の納入時に提出するよう納入業者に依頼（調達者の判断により連絡先や押印欄を適宜追加）

→④については、資材確認票による判別の結果を印刷物に記載

■印刷工程チェックリストによる確認（表4）

→③の印刷工程の基準の実施状況について、表4のチェックリストを参考に確認を行う（個々の案件ごとでなく事業所又は工場単位の取組状況を確認する）

資材確認票の様式（例）

作成年月日：　　年　　月　　日

御中

件名：

資　材　確　認　票

〇〇印刷株式会社

印刷資材		使用有無	リサイクル適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文	〇	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	表紙	〇	A	コート紙	〇〇製紙／〇〇	
	見返し	〇	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	カバー	―	―			
インキ類		〇	A	平版インキ	〇〇インキ／〇〇	
加工	製本加工	〇	A	PUR 系ホットメルト	〇〇化学／〇〇	
	表面加工	〇	A	OP ニス	〇〇化学／〇〇	
	その他加工	―	―			
その他						

↓

使用資材	リサイクル適性	判別
Ａランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	〇
ＡまたはＢランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
ＣまたはＤランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

備考）１　資材確認票に記入する印刷資材は、最新の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」に掲載された古紙リサイクル適性ランクリストを参照すること。

２　古紙リサイクル適性ランクが定められていない用紙、インキ類等の資材を使用する場合は、「リサイクル適性ランク」の欄に「ランク外」と記載すること。

３　内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。

平成 31 年 2 月改定基本方針より抜粋

オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト様式（例）

作成年月日：　　年　　月　　日

御中

オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト

〇〇印刷株式会社

工程		実現	基準（要求内容）
製版		はい／いいえ	①次のＡ又はＢのいずれかを満たしている。 Ａ　工程のデジタル化（DTP 化）率が 50%以上である。 Ｂ　製版フィルムを使用する工程において、廃液及び製版フィルムから銀の回収を行っている。
刷版		はい／いいえ	②印刷版（アルミ基材のもの）の再使用又はリサイクルを行っている。
印刷	オフセット	はい／いいえ	③水なし印刷システムを導入している、湿し水循環システムを導入している、環境に配慮した湿し水を導入している、自動布洗浄を導入している、自動液洗浄の場合は循環システムを導入している、環境に配慮した洗浄剤を導入している、廃ウェス容器や洗浄剤容器に蓋をしている等の VOC の発生抑制策を講じている。
		はい／いいえ	④輪転印刷工程の熱風乾燥印刷の場合にあっては、VOC 処理装置を設置し、適切に運転管理している。
		はい／いいえ	⑤損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料へのリサイクル率が 80%以上である。
	デジタル	はい／いいえ	⑥省電力機能の活用、未使用時の電源切断など、省エネルギー活動を行っている。
		はい／いいえ	⑦損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料等へのリサイクル率が 80%以上である。
表面加工		はい／いいえ	⑧アルコール類を濃度 30%未満で使用している。
		はい／いいえ	⑨損紙等（光沢加工工程から発生する損紙、残紙、残フィルム）の製紙原料等へのリサイクル率が 80%以上である。
製本加工		はい／いいえ	⑩窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制策を講じている。
		はい／いいえ	⑪損紙等（製本工程から発生する損紙）の製紙原料へのリサイクル率が 70%以上である。

備考）　内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。